

令和6年度 学校関係者評価委員会 議事録

日 時：令和6年6月27日(金) 18:30 ～ 20:30

場 所：大阪ハイテクノロジー専門学校 本館5階大教室

出席者：橋本・福士・安達・矢野・井上・寶田・仲村・湊脇・関谷・尾沢・山下

<敬称略>

学校関係者評価委員会

(保護者代表) 福永・福菅

(高等学校代表) 高橋

(卒業生代表) 胡本・木村・

(業界代表) 坂本・臼井・堀口・山本・難波

(近隣関係者代表) 久保

司 会：山下

書 記：矢野

議題	内 容	発議者
事前打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムスケジュールは予定通りに進めます。 ・1週間以内に議事録提出すること。 ・謝礼は振込なので口座番号を記載する。印鑑がない場合は郵送で送ってもらうので返信用封筒の説明も行うこと。 	<p>福士</p> <p>尾沢</p>
全体会	<p>開会の辞・司会挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布物確認、スケジュール確認 <p>学校長挨拶（学校長 橋本勝信）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入挨拶 ・職業実践専門課程の認定校の推移と現状への懸念 ・大阪ハイテクの歴史と理念等について ・成果として、各学科の国試合格者数の報告 <p>令和5年度学校教育活動および重点事項（事務局次長 福士曉也）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1：職業実践専門課程について 2：職業実践専門課程の認定 診療放射線技師学科と人工知能学科が今年度から認定 3：令和5年度トピック 淀川区との連携協定を提携 滋慶 CSIRT 発足 4：自己点検と自己評価報告 5：教育課程編成委員会の位置付け 6：令和5年度重点項目についての自己評価 <ul style="list-style-type: none"> ・退学者 4.8%（新入生 6.8% 進級学年 3.8%） 退学者の傾向：前期は精神面、後期は成績面 初年度教育、入学前教育が重要 <ul style="list-style-type: none"> ・国家試験合格率 臨床工学技士 89.0% 柔道整復師 70.2% はり師 69.2% きゅう師 69.2% 診療放射線技師 75.0% 	<p>山下</p> <p>橋本校長</p> <p>福士</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率 8月 32.5% 内定の早期化が進んでいる。 離職率 1年後：17% 3年後：30% ・学生募集 74.0% 定員 70%以下の学科が 6 学科 現状の AO 入試の数字からは改善の可能性が見て取れる。 それでも厳しい状況ではある。 大学の進学率は上昇傾向。就学支援の効果により経済的理由による大学進学諦めが減少している。 近畿の専門学校 40 校が閉校、募集停止、統合した。 ハイテクは WEB OC や SNS を強化している。 ・学費完納率 99% ・今年度の課題 5 つの数字+次世代人材の育成 <p>意見交換及び質疑応答（司会：山下 進行：福士）</p> <p>学生募集については他校も SNS などをしているので大変いいと思う。 自分の子供の就職については人の役に立つ仕事についてくれると嬉しい。</p> <p>学生スタッフなどの経験も非常に楽しんでおり、いい経験となっていると思う。就職については幅広いのでまだ定まっていないので自分の会う業界、仕事を見つけてほしい。</p> <p>就職時期が早い、また幅広い業界があるので学生が進路の見定めを早くしていく必要がある。カリキュラムにキャリア教育などを入れてフォローしている。</p> <p>就職率 100%はすごい。自分の時代ではなかった。 離職調査をおこなうことは素晴らしい。 業界ともっと密につながってほしい。 スポーツボランティアをしているので学生の参加をしてほしい。 日本鍼灸師学会は災害医療に取り組んでいるのでカリキュラムにも取り入れてほしい。南海トラフなどの事を考えると対応できる人材を育ててほしい。</p> <p>学生をつれてボランティアに参加した経験はある。 今後のカリキュラムの変更の機会に取り入れていきたい。</p> <p>臨床工学技士も現場ではなかなか活動に制限はある。 現状では透析治療などにおいてボランティアがフォローなどを行っているようす。</p> <p>JMAT などもあるが自身は災害医療について学ぶ機会は少なかった。 学校で機会をつくることはいいこと。 技士会と養成校が関係を作っていくことが課題。 離職率について待遇面を理由はしているが、入職前に分かっていること。学生時代にも離職につながらないように指導はできるのではないか。</p>	<p>福永 (AS)</p> <p>福菅 (B)</p> <p>矢野</p> <p>堀口 (鍼灸)</p> <p>寶田</p> <p>淵脇</p> <p>山本 (臨床)</p>
--	---	--

	<p>学生募集について。今の学生は何を見て学校を選んでいるのか？インターネットが一番多い。きっかけとして。</p> <p>決定となるのは国家資格合格率などが決定要因になるのか？偏差値で選んでいる傾向にある。自分のいける学校を選んでいるので大学を目指せる学生は大学を選ぶ傾向。高校の指導も同じ。</p> <p>臨床工学の専攻科は魅力的に思うが集まらない理由は？</p> <p>ハイテクのマーケティングが上手くいっていないのと、臨床工学技士の認知度が低いことが要因だと考えている。</p> <p>医療業界でも1年で資格が取れると知られていなので、そこを広げていく、また他校の他の国家資格取得予定者にアナウンスするなどが効果があるのでは。</p> <p>ダブルライセンスをとっても仕事を二重でできるわけではない。資格取得直前の学生に臨床工学技士の資格を勧めるのは難しい。</p> <p>資格取得が1年で取れると軽く見られる問題もある。</p> <p>3年で出てきた学生とは違う性質を持つので現場ではニーズはある。</p> <p>人工知能は流行りではあるが、学校で学んでもどこで働けるかイメージができていない学生が多い。職業観を植え付けることが学生募集につながるのではないか。</p> <p>高校生向けにイベントを用意しているが、高校生は大学に目がいつているのが実情。</p> <p>医療系の就職が増えているが食品業界などはどうか。</p> <p>全体的に手厚い。カリキュラムを時代に合わせているよう思うが、学生募集が上手くいっていないのがもったいない。</p> <p>学科間でのつながりが大事。</p> <p>人間力の成長を可視化していく必要もある。</p> <p>スポーツもAIなどとの融合が必要になっている。</p> <p>オープンキャンパスに来ている学生でアナリストなどに興味をもっている人もいるが、就職の出口が不明瞭なところもあり、手を出しづらいところ。</p> <p>人間力については確かに重要で課題になっている。</p> <p>看護系の学生がオープンキャンパスにきてハイテクに決める学生が増えている。</p> <p>AI などについては高校でも大学や大学院などで学ぶイメージを持っている。</p> <p>英語の必要性を感じていない学生が多いので、これからの時代は必要になってくると思うので指導をお願いしたい。</p> <p>卒後のフォローまでしているところに感銘を受けている。</p> <p>そこも数値化することも大事。</p> <p>ボランティア活動なども発信していくことも大事。</p> <p>災害時のマニュアルはあるかもしれないが、学生がどこまで理解できているのか？学生がマニュアル作りなどをするのもいいのではないか。</p>	<p>難波 (RT)</p> <p>福士</p> <p>難波</p> <p>関谷</p> <p>難波</p> <p>福士</p> <p>難波</p> <p>濱脇</p> <p>山本</p> <p>濱脇</p> <p>坂本</p> <p>安達</p> <p>胡本</p> <p>臼井 (SS)</p> <p>井上</p> <p>高橋 (高校)</p> <p>久保 (近隣)</p>
--	---	---

	<p>災害協定を淀川区と結んでおり、災害時には可能な範囲で貢献していきたい。避難訓練などもおこなっているが、学生のマニュアル作りへの参画などについても検討したい。</p> <p>アンケート記入</p> <p>閉会の辞</p>	福士
--	--	----